

富里環境保全の会

市町名： 袋井市

協定面積 (ha)	田	52.55	対象農用地 (ha)	田	52.55	対象資源	数量
	畑	4.85		畑	4.85	農用地	57.4ha
	草地			草地		開水路	6.7km
	計	57.4		計	57.4	パイプライン	6.5km
組織の構成員	自治会・部農会・子供会					ため池	
						農道	8.4km

地域の紹介

旧浅羽町の西部に位置し、太田川に接する農村地帯で、水田は県営圃場整備事業で30aに区画整理され、用水はパイプライン化され、用排分離された水田では、暗渠排水を完備することで乾田化による麦・大豆などの裏作が可能となり、近代的な農業基盤整備が施されてきた。しかし、農業者の高齢化・担い手不足・米価低迷などにより耕作者が減少してきており、農用地の保全が困難な状況となってきました。



活動内容

(基礎部分) 点検活動 共同作業計画の策定 農用地・水路・路肩の草刈り 水路・道路側溝の泥あげ
(農地・水向上) 機能診断 診断結果の記録管理 年度計画の策定 きめ細やかな雑草対策 水路破損施設の補修
(農村環境向上) 景観形成 生活環境保全計画の策定 広報活動 農用地を活用した景観に配慮した植栽 地域住民との交流

基礎部分:水路の草刈



農地・水向上:年間活動計画の策定

地域の将来像

富里地区は農地改良が進み、良好な農村環境と農業生産の基盤が整備されてきた。しかし、用水施設、農道法面・開排水路等の適切な保管理や環境整備が後に残る形となっている。地域が一体となって農村環境の維持、保全に協力し合いコミュニティの中で環境重視や農業の次世代人材育成を図っていく。

課題

地域内では住宅の混在化により整備の行き届かない中小の耕作放棄地が見られ、景観や環境の悪化が心配されるところがある。今後も遊休農地対策について、整備・農地保全を進める必要がある。



農村環境向上:交流活動

抱負・コメント

今後も遊休農地対策を活動として、景観形成や地域農園のあり方について計画し実施していく。
大型農業排水路の泥上げ等の整備について検討し実施していくなど、年度計画に沿って活動を展開していく。

